



発行 徳島市西新浜町二丁目3番102号 TEL 088-676-2200 FAX 088-676-2201
 URL : <http://www.toku-forest.com/> E-mail : info@toku-forest.com



藍よしのがわトロッコ



第70回通常総会開催	2～3
令和3年度徳島県表彰受賞のお知らせ	3
四国四県森林組合連合会会長会議	4
徳島県へ伝統工芸品「阿波指物」を寄贈	5
林業・木材産業への支援に関する要望	5
「みどりの110番」実績報告書	6
徳島木のおもちゃ美術館開館	7～8

第70回通常総会開催

令和3年5月27日（木）、徳島市「徳島グランヴィリオホテル」において、徳島県森林組合連合会第70回通常総会を開催いたしました。

冒頭、杉本会長から以下の主旨のあいさつをいたしました。

昨年度はコロナ禍の影響を受け、林業・木材産業界においても、経済活動全体の停滞により急激な木材需要の低迷、木材価格の下落などかつて経験したことのない事態に陥りました。このため、昨年5月に飯泉嘉門徳島県知事を訪問し、厳しい経営状況を訴えるとともに雇用を維持し、安心して林業経営が行えるよう国や県におけるコロナ対策の創設や既存事業の拡充を強く要望いたしました。飯泉県知事におかれましては、6月補正予算において、滞留原木に対する流通支援や雇用を守るための森林整備施策などを迅速に講じていただき、加えて令和3年度は15ヶ月予算として編成され、コロナ対策やスマート林業プロジェクトをはじめ、切れ目のない森林・林業施策を講じていただいたことに対し感謝申し上げます。

また、県のコロナ対策の効果もあり、秋以降、木材需要は回復に向かい、年度末には木材価格もコロナ禍前の水準まで回復したことに加え、海外の経済復興による輸入木材の減少等により、国内の木材需給は逼迫し、県産材の供給を求める声が強くなっているとの見解を示しました。

このような状況の中、森林組合系統におきましては、今年4月1日に森林組合法の一部を改正する法律が施行され、従来の合併に加え事業の譲渡や吸収分割、新設分割といった新たな連携の枠組みが創設されたほか、今秋には「地域森林の適切な利用・保全と林業経営の更なる発展に向けて」をスローガンに、10年後を見据えた全国的な次期森林組合系統運動方針「JForestビジョン2030（仮称）」が決定されることとなっています。これを契機に、当連合会や森林組合におきましても、新たな運動方針の策定を進め、組合員へのサービス向上、働く人の所得向上と就業環境の改善、事業の拡大・効率化による経営基盤の強化などに取り組み、県産材の増産や県土強靱化に向けた森林の保全・整備といった要請にしっかりと応えていくとの決意表明を行うとともに、引き続き、会員の皆様方のご理解・ご協力と国・県・市町村・関係機関のご支援・ご鞭撻をお願いする旨を申し上げ、あいさつを締めくくりました。

続いて優良森林組合並びに職員の表彰式が執り行われ、受賞者を代表して「木頭森林組合 松野圭介氏」が謝辞を述べられたのち、ご来賓を代表して、飯泉県知事よりご祝辞を賜りました。

なお、議事については議長に和泉副会長が選出され、提出11議題はすべて原案どおり可決承認されました。



杉本会長あいさつ



飯泉県知事ご祝辞

令和2年度優良森林組合並びに職員の表彰者

1. 優良森林組合の部

販売事業の部 徳島北部森林組合

購買事業の部 木頭森林組合

森林保険事業の部 徳島中央森林組合



表彰式の様子

2. 職員の部

海部森林組合 嘱託職員 叶崎 千秋 氏

木頭森林組合 技 師 松野 圭介 氏



受賞者代表謝辞

令和3年度 徳島県表彰受賞のお知らせ (県森連理事・徳島中央森林組合長 国清 栄 氏)

令和3年6月11日(金)、ホテルクレメント徳島において、令和3年度徳島県表彰式が執り行われました。

今年度の徳島県表彰では、当連合会理事で徳島中央森林組合代表理事組合長でもある国清栄氏が、長年にわたる地域林業振興への貢献と、森林組合の育成強化における功績が認められ、受賞されました。

受賞者の長年の功績に対し深く敬意を表し、心からお祝い申し上げます。



令和3年度

四国四県森林組合連合会会長会議



令和3年7月29日（木）、徳島市・徳島ワシントンホテルプラザにおいて「令和3年度四国四県森林組合連合会会長会議」を開催いたしました。

当会議には、四国四県森連のほか、オブザーバーとしまして、徳島森林管理署・徳島県農林水産部・農林中央金庫高松支店・全国森林組合連合会にもご出席を賜り、各県から提出された議案について協議・検討並びに情報交換を行いました。

なお、協議結果につきましては、当番県であります当連合会で取りまとめのうえ、各県森連会長の連名により、全国森林組合連合会会長宛て要望書を提出しました。

〈提出議案〉

●ウッドショック関連

1. ウッドショックにより生じた木材価格の高騰と懸念される影響について
2. ウッドショックによる国産材の需要増への対応について
3. 木材増産及び木材市況の大幅な変動に対する取り組みについて

●林業担い手対策関連

1. 林業担い手の確保について
2. 緑の雇用事業について

●その他

1. 新たな森林経営管理制度の進捗並びに森林環境譲与税の活用について
2. 改正森林組合法の施行を受けての取り組みについて
3. 新たな森林組合系統運動について
4. 新型コロナウイルス感染症に係る会議等の開催について

〈要望書の概要〉

●ウッドショック後を見据えた対策について

ウッドショック収束後に、厳しい森林経営に陥ることを危惧し、こうした事態が発生しないよう、対策の創設を要望。

●持続可能な森林経営に向けて

輸入材不足により、外材から国産材に置き換わるケースが増加しており、これを契機に国産材主導の流通構造に転換することが重要で、そのことが持続可能な森林経営に繋がることから、川上から川下に至る総合的なサプライチェーンの構築に向け、ICT等の最先端技術を活用したスマート林業をはじめ、木材の生産・流通・加工の効率化や更なる利用拡大に資する対策の拡充強化を要望。

●林業担い手の育成・確保について

国産材の増産はもとより、国土強靱化や地球温暖化防止等に貢献する森林整備の推進において、林業担い手の育成・確保は重要課題であるため、「緑の雇用」事業をはじめ森林組合系統が一丸となって担い手対策が実施できるよう、予算の確保や円滑な事務執行について要望。



徳島県へ伝統工芸品「阿波指物」を寄贈



農林中央金庫高松支店（梶島鉄太郎支店長）と徳島県森林組合連合会（杉本直樹会長）は、令和3年8月3日（火）に徳島県庁において、徳島すぎ製阿波指物の寄贈式を実施しました。

阿波指物は、釘などの接合材を使わずに木を組み立てる徳島県の伝統技術であり、今回寄贈された阿波指物については、本年10月に開館予定の「徳島木のおもちゃ美術館」に展示されることとなっています。

寄贈された阿波指物は、徳島市の阿波指物製作会社・富永ジョイナー（有）の富永啓司代表が製作されました。作品は「今 渦から飛び立たん」と題され、コロナ禍からの飛翔の思いを込め鳴門の渦潮から飛び立つ不死鳥の様子を表現しています。

農林中央金庫の梶島支店長は「徳島県産材と伝統文化の良さが皆様に伝わればと思う」と語られました。



寄贈された阿波指物を囲む関係者（左から徳島県森林組合連合会杉本会長、徳島県福井副知事、農林中央金庫高松支店梶島支店長、富永ジョイナー（有）の富永啓司代表）



寄贈された阿波指物「今 渦から飛び立たん」

林業・木材産業への支援に関する要望



令和3年8月11日（水）、徳島県木材協同組合連合会（松田理事長）・徳島県素材生産流通協同組合（亀井理事長）・徳島県森林組合連合会（杉本会長）の3団体の代表が飯泉嘉門徳島県知事を訪問し、ウッドショックの影響を踏まえた「林業・木材産業への支援に関する要望」を行いました。

要望内容としては、ウッドショックを木材利用が外材から県産材に置き換わる好機と捉え、需要者ニーズに対応した安定供給体制を構築し、県産材シェアを拡大するため、「**スマート林業の実装に向けた高性能林業機械等の導入支援の強化**」及

び「**木材の品質及び生産性の向上を図る乾燥技術の普及と乾燥施設の導入支援の強化**」について要望いたしました。

飯泉知事からは、「9月補正予算を含め、できるものから措置していきたい」との心強いお言葉をいただくとともに、これまで以上に増産対策を強化するようご要望を賜りました。

●●●みどりの110番●●●

◇樹木医による無料緑化相談◇

徳島県森林組合連合会では、国、地方公共団体、森林組合、民間企業及び徳島県民等に対して、樹木、環境緑化木等の育成、保護に関する情報提供を行うことにより、緑化の推進及び森林の保続培養、ひいては国民経済の発展に資することを目的とし、「緑の募金」を活用して、当連合会内に「みどりの110番」を設置しています。

「みどりの110番」では徳島県森林組合連合会の所属員及びその組合員並びに会員外に対し、本会に徳島県樹木医会の先生が常駐し、電話・FAX・窓口対応の方法により、無料の緑化相談、技術指導を行っています。

〈令和2年度相談状況〉

月	相談等件数	地域別		相談区分			調査依頼	その他依頼等
		県外	県内	TEL	FAX等	来所		
4	12		12	11		1		
5	14		14	12		1		1
6	8		8	3		1	4	
7	6		6	4		2		
8	11		11	7	1	1		2
9	7		7	5		1		1
10	12		12	6	1	2	1	2
11	11		11	9		1		1
12	11		11	7	3			1
1	3		3	2	1			
2	5		5	3	1			1
3	12		12	9	1	2		
計	112	0	112	78	8	12	5	9

(相談内容)

令和2年度の「みどりの110番」の相談件数は112件となり、昨年度より38件減少しました。これは庭付き住宅の減少や相談される方の高齢化など社会的な要因に加えて、ベテラン相談員の減少が大因をなしていると思われます。しかしながら、相談件数の18%が天然記念物や公園、学校、街路樹など公共的な施設からの相談であり、「みどりの110番」は、依然として県下唯一の緑化技術の相談窓口として役割を果たしています。

相談内容の内訳は次のとおりであり、相変わらぬ松のサビ病に関する相談が多くなっています。また、最近の事情を反映して、「ナラ枯れ」の被害が海陽町や阿南市の県南域に限らず、徳島市内でもウバメガシ等に見られました。これについては、気候の変動により10年前とは変わっているという意識で対応せねばならないと考えています。

(相談内容の内訳)

庭木の保育管理等の相談件数	41件	36%	(昨年度 34%)
庭木の病害虫等の相談件数	37件	33%	(// 43%)
緑化樹等の増殖についての相談件数	1件	1%	(// 2%)
その他の(事務連絡を含む)相談件数	33件	30%	(// 21%)

(天然記念物や公共的な施設の相談件数)

天然記念物・公園・学校・街路樹等の施設からの相談件数 20件(全相談件数の18%)

(天然記念物や公共的な施設の指導等の実施状況)

令和2年度「みどりの110番」を通じて相談や調査・指導等を行った箇所は、次のとおりです。

壇の大クス、西川田の大クス、榎淵のフウ、箆蔵小学校のヤエザクラ、上板乳保神社のイチョウ、赤羽根大師のエノキ、徳島中央警察署のサクラ、山瀬諏訪神社のクス、阿波町長峰のアベマキ、野上の大センダン、徳島県庁のナラ枯れ、池田高校・辻校のメタセコイア、勝瑞城館跡のクロマツ、アコメ海岸のマツ。

【相談受付時間】

月曜日・木曜日の午前10時から午後3時まで
(祝日・年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)を除きます。)

お気軽にお問い合わせ下さい。

(088)676-2202

(TEL・FAX 兼用)



日本樹木医会 徳島支部

〒770-8008 徳島市西新浜町二丁目3番102号

エコみらいとくしま2F(徳島県森林組合連合会内)



徳島木のおもちゃ美術館

TOKUSHIMA WOODEN TOY MUSEUM



2021年 10月24日 SUN 開館

Coming soon

自然・伝統・文化を活かした「木育」おもちゃ美術館

県土の約4分の3を森林が占め、林業で地域経済の活性化を目指すべくさまざまな取組を行う徳島県。県内に広がる美しい自然、そして木の魅力、伝統、文化を幅広い世代の方々に知っていただきたく「徳島木のおもちゃ美術館」は誕生します。



木の恩恵を伝える「木育」美術館



徳島の伝統、文化を伝える美術館



おもちゃ学芸員がもてなす美術館

徳島県産材をふんだんに使った館内に、さまざまなおもちゃが揃います!



※CG写真は全て製作途中イメージ

■各コーナーの特長 ※一部抜粋して紹介

グッド・トイのもり:

認定NPO法人芸術と遊び創造協会が選定する「グッド・トイ」を取りそろえた専用ルーム。世界中の良質なおもちゃは、老若男女、洋の東西を問わず、多くの方を笑顔にします。

ごっこフォレスト(おもちゃのもり):

館内でも最大の高さと広がりをもつ開放感のある空間は、2層構造として活用し、山を散策するように、おもちゃの詰まった「遊びの遊山箱」を持ち歩いて楽しめる、徳島ならではの遊びを計画しています。

ウダツのまち(おもちゃのまち):

様々な遊びのできる小屋をテーマごとに設置します。小屋のデザインには、国重要伝統的建造物保存地区として県内の代表的な観光資源でもある「うだつの町並み」を取り入れ、来館者へ文化的背景も伝えていきます。

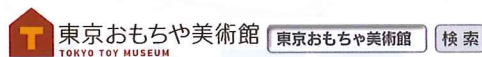
赤ちゃん木育ひろば:

3歳未満とその保護者専用の木育ルーム。赤ちゃんが安心してハイハイやつかまり立ちができる広さを確保し、年齢や発達に合わせた空間デザインとおもちゃ・遊具を配置し、ゆったりと遊ぶことができます。

全国に広がる「姉妹おもちゃ美術館」

全国で7館目の姉妹おもちゃ美術館

東京おもちゃ美術館では、当館の理念にご賛同いただいた方々と一緒に、日本中におもちゃ美術館を設立する、「姉妹おもちゃ美術館」事業を進めています。徳島木のおもちゃ美術館は、全国で7館目の開館。姉妹美術館へも是非、訪問ください。



※水色字の日程は開館予定時期です



「くつろぎ館リニューアル」+「木育の小径(こみち)」

おもちゃ美術館をもっと楽しく!

2021年7月1日より、隣接するレストラン「くつろぎ館」をリニューアルオープンいたしました。徳島県産材をふんだんに使用した空間で、多くの家族連れや観光客の方々に素敵な時間を楽しんでいただくことを目指します。

また、「あすたむらんど徳島」正面入口に美術館専用ゲートを設け、木々をくぐりぬけてドキドキワクワクしながら美術館に向かう「木育の小径」を新たに整備する計画です。



※くつろぎ館内観



※木育の小径(こみち)入口イメージ

徳島木のおもちゃ美術館

TOKUSHIMA WOODEN TOY MUSEUM

【所在地】 徳島木のおもちゃ美術館 検索
徳島県板野郡板野町那東字キビガ谷45-22(あすたむらんど徳島内)
TEL :088-621-2484 (徳島県農林水産部スマート林業課)

入館料	
小学生未満	無料
小中学生	300円(240円)
一般	800円(640円)
年間/バスポート (小中学生)	2,100円
年間/バスポート (大人)	5,600円

※()の金額は、団体料金(20名以上でのご入館)です。

【休館日】水曜日(祝日の場合は翌日休館。8月12日~15日の水曜日は開館)

【開館時間】09:30~16:30(7月1日から8月31日までの期間は、09:30~17:30)

【アクセス】・徳島自動車道 藍住ICから車で15分
・高松自動車道 板野ICから車で5分
・神戸淡路鳴門自動車道(高松自動車道) 板野ICから車で5分
・JR板野駅から 車で5分

【駐車料金】無料